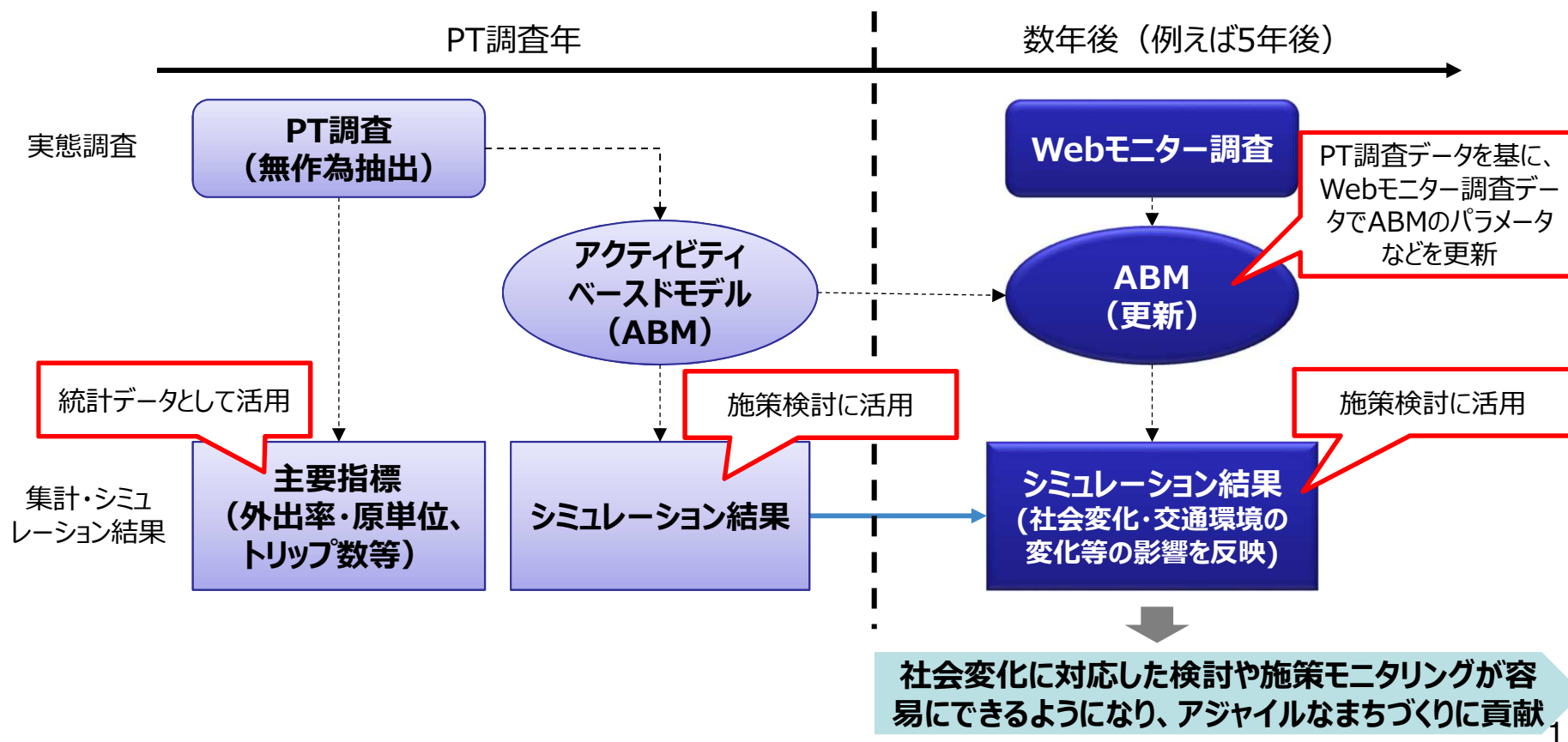


Webモニターの活用方策の検討

国土交通省 都市局
都市計画課 都市計画調査室
令和5年7月

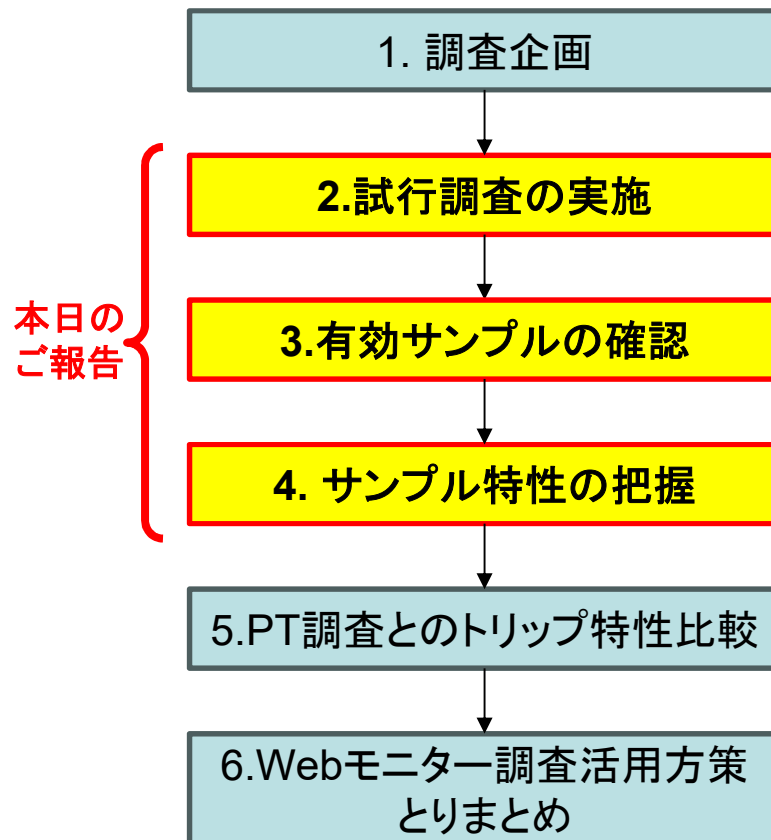
- Webモニター調査は、従来のPT調査より安価に実施できる期待がある
- 一方、Webモニター調査は、無作為抽出等のPT調査とは異なる点が多いことから、**Webモニター調査の特徴を整理し、それを踏まえた活用方法**（従来のPT調査で構築したアクティビティベースドモデルの更新等）を検討する
- 具体的には、Webモニター調査の試行調査を実施し、その特徴を把握・整理した上で、活用方策を検討する

■Webモニター調査の活用の考え方(想定)



- **PT調査を実施した都市圏（今回は、2022年にPT調査を実施した西遠都市圏）**において、Webモニター調査を実施、検討する
- 検討に当たっては、**Webモニター調査のサンプルの特性の把握、トリップ特性をPT調査データと比較**し、Webモニター調査の活用方法を検討する

■ 検討の流れ



■ Webモニター試行調査の実施方針

第7回検討会提示

- 対象都市圏：西遠都市圏
 - 調査時期：2023年2月
 - 想定サンプル数：
2,000サンプル程度
 - 検証内容
 - サンプル特性の比較
 - 指標（トリップなど）特性の比較
- ※比較分析の実施は西遠都市圏のマスターデータが完成する2023年度

R4西遠都市圏PT調査の
対象範囲



浜松市、磐田市、掛川市、
袋井市、湖西市、菊川市、
森町

- **Webモニター調査で得られる最大限のサンプル数を把握するために**、ネットリサーチ会社が保有するWebモニターのうち、回答が得られる確率が高い（過去6カ月以内に回答実績があるモニター）**モニターを対象**に調査した（1、2回目）
- 回答数を増やすために、上記以外のモニターに対しても調査（3回目）。合計約2万弱のモニターに回答を依頼した
- **回答の論理矛盾がチェック可能**な、全国都市交通特性調査で活用実績のある**独自構築のWeb回答システム**を活用した
- ネットリサーチ会社が保有するほぼすべてのモニターに対して調査依頼した結果、**1,595人（調査を依頼した約1割）のモニターからの回答**が得られた
- 回答数は少ないものの、調査費用（実査部分）はPT調査より、安価であった

※モニターには謝礼としてポイントが付与されるが、ネットリサーチ会社の社内規定に基づいて付与されたポイント数は非開示で、かつ、調査主体側が付与ポイント数を指定することは原則不可であった

■ Webモニターへの調査の実績

	第1回	第2回	第3回
対象	過去6か月以内に回答実績有		その他
調査対象日	2023/2/21	2023/2/28	
調査依頼日	2023/2/22	2023/3/1	2023/3/9
回答締切日	2023/3/5	2023/3/12	
配信数	12,817		6,548
回答数	1,543		52
回収率	12.0%		0.8%

■ 試行調査と西遠都市圏PT調査の比較

	試行調査	R4西遠都市圏PT調査
実施時期	2023/2～3	2022/9～11
対象者	Webモニター	無作為抽出
回収状況	個人 <ul style="list-style-type: none"> 回収：1,595人 依頼：19,365人 回収率：8.2% 	世帯 ※本体調査 <ul style="list-style-type: none"> 回収：7,285世帯 発送：27,645世帯 回収率：26.4%

- Webモニター調査では不適當な回答（※）が生じやすい懸念があることから、①複数設問における同一選択肢の回答、②不適切なトリップの回答、の2つの視点で回答の有効性を確認したが、不適當（無効）と判断されたサンプルは、**全回答の約1%**にあたる23回答であった

※調査協力にともなうポイントを獲得するために機械的に不適切に回答するなど

①同一選択番号を複数回答

以下の2つの条件の両方に該当する回答

条件1

冒頭の選択式回答において、全て1番目の選択肢を7割以上選択（7～11問中5～8問で1を選択）している場合

設問

- ① 現住所から鉄道駅までの距離
- ② 現住所からバス停までの距離
- ③ 性別
- ④ 勤務開始時刻が固定か
- ⑤ 勤務先から鉄道駅までの距離
- ⑥ 勤務先からバス停までの距離
- ⑦ 自動車運転免許保有状況
- ⑧ 運転免許の返納意向
- ⑨ 自由に使える自動車の有無
- ⑩ 外出に関する身体的困難さ
- ⑪ カーシェアリングの利用状況

※1番目の選択肢を

7割以上選択：30回答（約2%）

6割以上選択：197回答（約12%）

条件2

「①現住所から鉄道駅までの距離」の設問で、1と回答した場合は「駅までの距離は100m以内」となるが、実際は500mを超えている場合



①の無効回答数
19回答（約1%）

②不適切なトリップの回答

長距離トリップ（50km以上）にもかかわらずトリップ時間が非常に短い場合（トリップ時間が経路検索結果の1/2未満）

例

浜松市東区～長野県須坂市間（約200km）の移動を29分と回答（経路検索では約4時間）

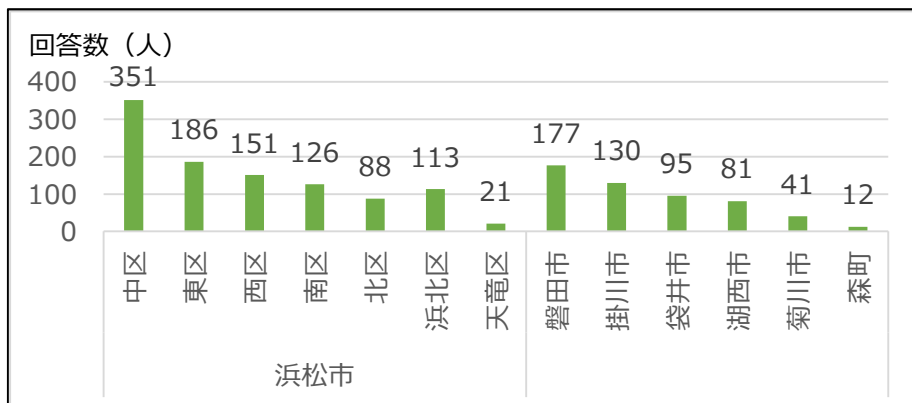


②の無効回答数
4回答（約0.3%）

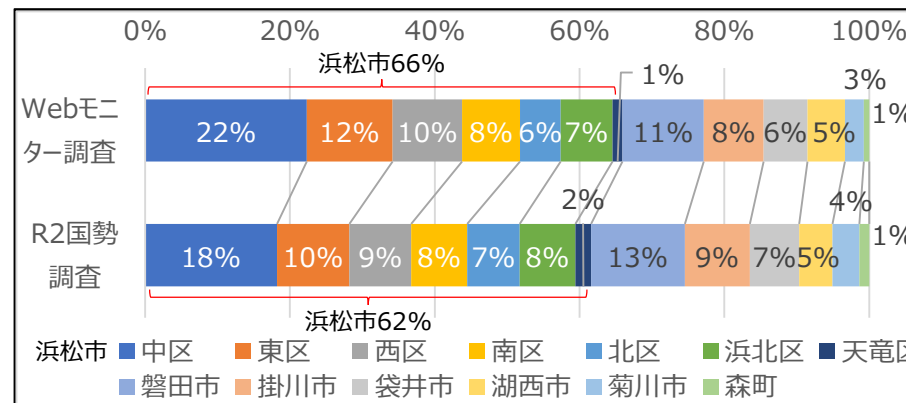
調査結果(サンプル特性の把握)①

- Webモニター調査で取得されたサンプルは、**市区町別では国勢調査とおおむね同様の構成を示したが、性年齢階層別にみると、男性の45～64歳のサンプル数割合が高い一方、若年層や高齢層の割合が低い**という結果となった
- 集計の視点によってサンプルの偏りの見え方が異なることがわかる

【市区町村別】

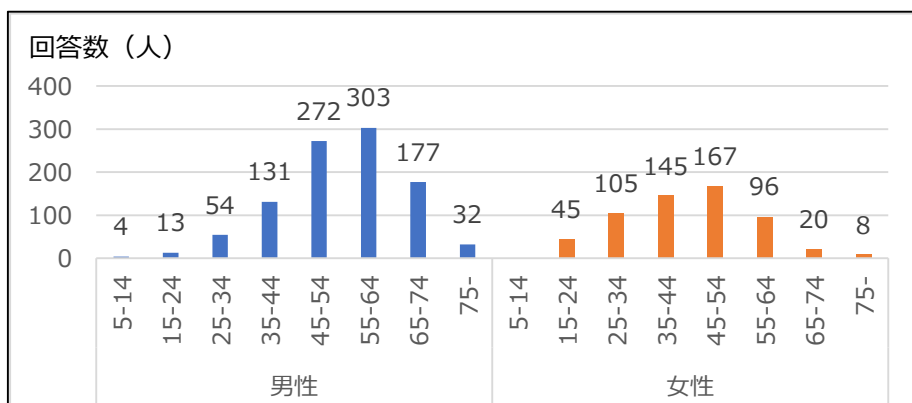


Webモニター調査回答数

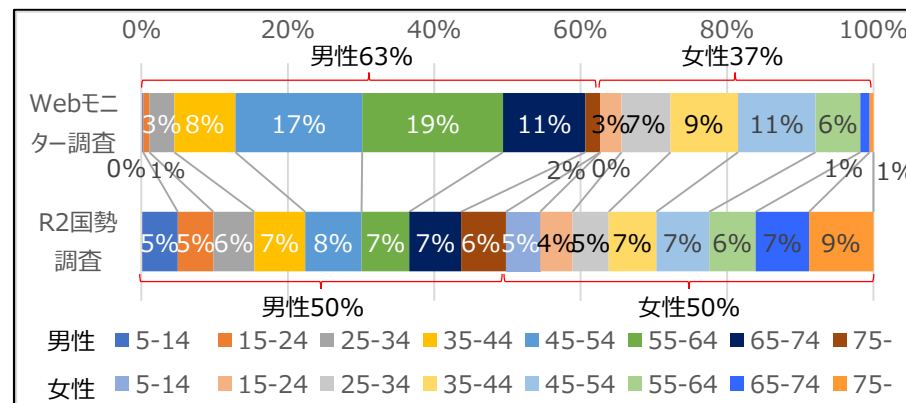


サンプル数・人口構成比 (Webモニター調査・R2国勢調査)

【性年齢階層別】



Webモニター調査回答数

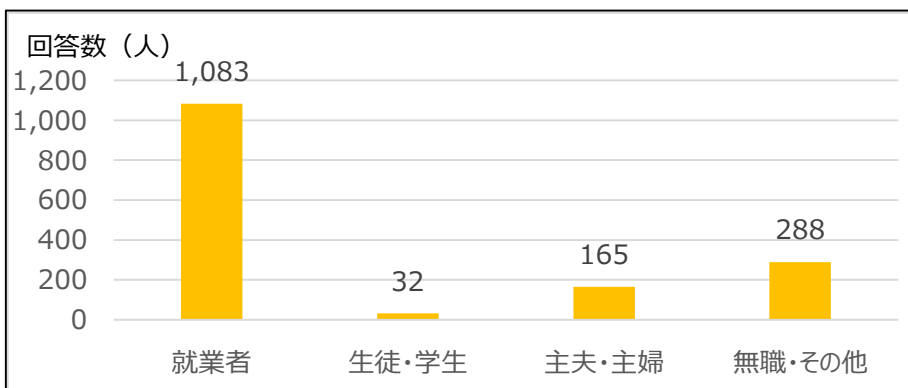


サンプル数・人口構成比 (Webモニター調査・R2国勢調査) 5

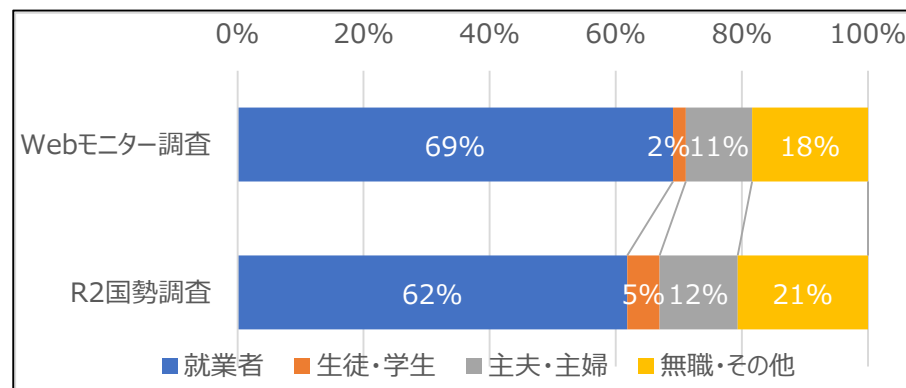
調査結果(サンプル特性の把握)②

- **就業状態別では就業者のサンプル構成比が国勢調査の人口構成と比較してやや高く、世帯人員別では2人世帯の回答数割合が人口割合と比較して高い一方で、4人以上の世帯の割合が低い結果となった**
- Webモニター調査では、**サンプルの取得に偏りが生じる**可能性があるが、サンプルが多く取得できれば偏りがあったとしても傾向を把握することが可能であり、データの特質を**様々な集計の切り口でチェックすることが必要**となる

【就業状態別（15歳以上）】

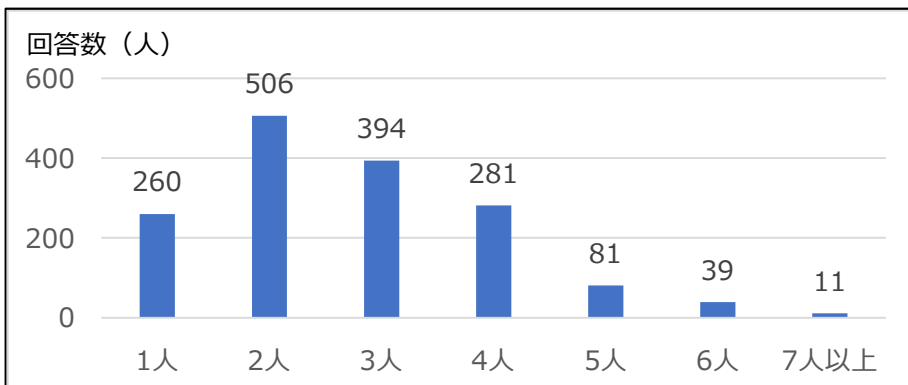


Webモニター調査回答数

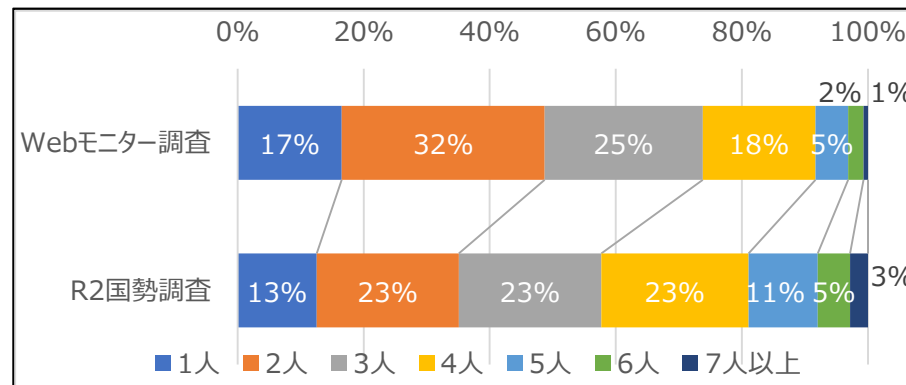


サンプル数・人口構成比（Webモニター調査・R2国勢調査）

【世帯人員別】



Webモニター調査回答数



サンプル数・人口構成比（Webモニター調査・R2国勢調査）6

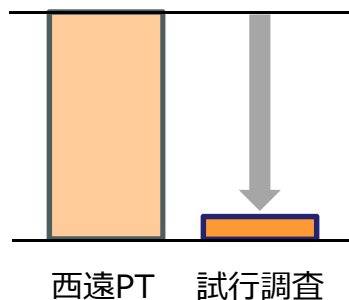
今後の検討の方向性案

- 今回の西遠都市圏を対象としたWebモニターの試行調査では、**最大で得られる回答数は個人ベースで約1,500サンプル程度**であること、また、**14歳以下などの属性ではほとんどサンプルが取得できない**ことがわかった
- 今後は、試行調査で得られたサンプルと西遠PTデータとトリップの特性を比較し、今後活用できるようにするため、**どのようにカテゴライズすると移動の特徴を適切に把握できるのか**を検討する

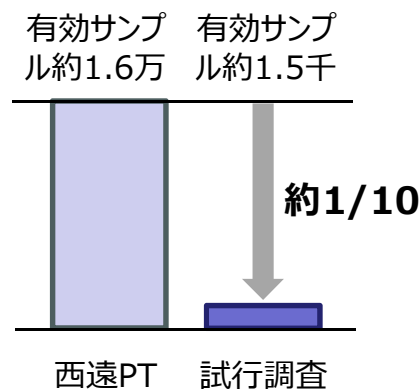
■ Webモニター試行調査の特徴と課題（まとめ）

- Webモニター調査は、安価に小サンプルを取得できた
- 取得したサンプル数に課題（年齢による回答数の違い等）がある

調査費用



サンプル数



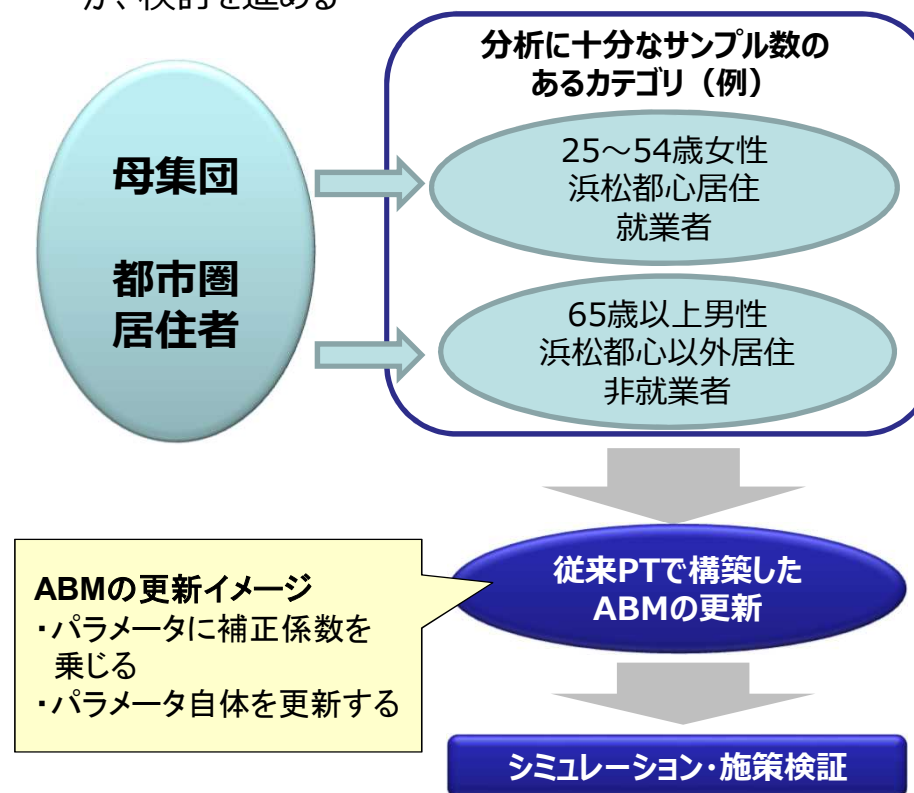
サンプルの課題

サンプル数が少ない地域・属性が存在

- 対象人口が少ない：中山間部等
- モニター構成の偏り：若年者、高齢者等

■ 今後の検討の方向性案

- どのような属性の組み合わせでカテゴライズすると移動の特徴を把握でき、ABMの更新に活用できるのか、検討を進める



本日

○ **試行調査の実施結果、無効回答の状況、サンプルの特性についてご報告**

- 無効回答のチェックの視点
 - サンプル特性を把握する際の視点
 - サンプルをカテゴライズする際の視点
- などについて、ご意見をいただきたい

今後の検討事項

- ① **サンプルをカテゴライズして集計した結果を、西遠PTの同じカテゴリで集計した結果とを比較し、Webモニター調査の活用場면을検討**